

## 加藤大臣会見概要

(H30.4.13 (金) 8:27 ~ 8:35 ぶら下がり)

【広報室】

### 会見の詳細

#### 《質疑》

(記者)

順天堂医院で起きました赤ちゃんの取り違いについてお伺いします。病院側は被害者の男性に対し謝罪はしましたが、本当の両親を知りたいということについては対応していません。この人が取り違えられたということは、少なくとももう一人被害者がいるということになりますけれども、この対応についてどのようにお考えでしょうか。

(大臣)

順天堂医院における新生児の取り違い事案については、病院から関東信越厚生局に4月11日に報告がありました。そして、同日同厚生局から本省の方に情報提供があったということでもあります。当該病院については、まず報告内容をしっかり精査させていただきたいと思っております。

(記者)

今後、精査をした上で指導等をされるということでしょうか。

(大臣)

いずれにしても精査した結果によると思います。関係者もいらっしゃるということですから、報告書の中にそういった話も入っているのであれば、そういったことも踏まえて精査していきたいと思います。

(記者)

報告書の目処というのはいつでしょうか。

(大臣)

報告書はすでにいただいているということなので、報告書を読んで、必要なものがあればしっかり情報収集してもらおうということだと思います。

## 加藤大臣会見概要

(H30.4.20 (金) 8:50 ~ 8:57 ぶら下がり)

【広報室】

### 会見の詳細

#### 《質疑》

(記者)

順天堂医院で起きた可能性が高い、赤ちゃんの取り違えについて伺います。昨日、取り違えの被害に遭った男性が、厚生労働省に対して、原因の究明を求める要望書を提出されました。厚生労働省として、その要望書にどのように対応していくお考えでしょうか。

(大臣)

まず、順天堂医院における新生児取り違え事案について、病院から関東信越厚生局を經由して厚生労働省にも報告があったと承知をしております。こうした取り違えが起こったことは、誠に遺憾でありまして、あってはならないことでもあります。順天堂医院から届けられた報告書によれば、出生直後

に母親の目の前で新生児にネームバンドを取り付ける対策が、今、すでにとられているということであります。これは、多くの医療機関でも、取り組まれている方策であり、今後同様の事例の再発が絶対に起きないように、この対策の徹底を望みたいと思っていますところであります。